

「トラックフェスタ2023」開催に向け運営計画案を承認

東ト協 理事会

東京都トラック協会(浅井隆会長)は12月15日、港区の第一ホテル東京で令和4年度第3回理事会(Web併用)を開催し、来年度の「トラックフェスタ TOKYO 2023」運営計画案などを審議・承認したほか、東京都の小池百合子知事への要望内容や、都による「運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業」について報告した。



「1日開催にするなどコンパクト化を視野に入れ、予算面を含めて持続可能な開催のあり方を検討したい」とした。報告事項では、5年トラック業界新年交歓会(1月13日、帝国ホテル東京)開催をはじめ、都知事による要望ヒアリングにおける運輸事業者振興助成交付金増額などの要望内容や、燃料費高騰緊急対策事業支援金の申請受付について説明した。

さらに、原島藤壽副会長が「標準的な運賃」について、関東運輸局から普及への取り組みを推進するよう要請を受けたことを説明し、届け出促進を呼びかけた。また、鎮目隆雄副会長が、厚生労働省助成金を活用し、トラック運送事業の重要性

をアピールする新聞広告の掲載について報告し、先立ち、寄附金贈呈式が行われた(4面掲載)。

東京都 燃料費高騰緊急対策事業支援金

東京都は12月26日午後3時から、運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業申請の受付を開始する。同事業は、価格高騰などで増大している燃料費負担の軽減を図るため支援金を交付するもので、中小の貨物運送事業者などが対象。

12月1日から郵送による申請受付を行っていたが、今回、支援金ポータルサイトを開設し、電子申請の受付を開始する。電子申請では、パソコンまたはスマートフォンから、申請

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

なお、同日は理事会に先立ち、寄附金贈呈式が行われた(4面掲載)。

冒頭、あいさつに立った浅井会長は、東京商工会議所1号議員選挙で、上位当選を果たしたことを報告し、感謝の意を示すとともに、「業界の代表として事業の振興と発展に向けて活動していきたい」と述べた。その上で、業界は厳しい経営環境にあるが、課題克服に向けて「円滑な協会運営にさ

らなるお力添えをお願いしたい」と呼びかけた。議事ではまず、フェスタ実行プロジェクトリーダーの森本勝也副会長が、9月17・18日に開催した「トラックフェスタ TOKYO 2022実践報告」を行い、DVD映像で開催概要を説明。開催2日目は雨天となったが、2日間合計で1万

人余が来場し、「何とかやり切ることができた」とその意義を強調した。引き続き、「トラックフェスタ TOKYO 2023」運営計画案を説明し、開催方針を承認した。来年9月16・17日、代々木公園で開催予定だが、森本副会長は開催方式を見直す考えを示

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

東ト協 児童絵画コンテスト表彰式

東ト協は12月18日、東ト総合会館で、令和4年度「トラックの日」児童絵画コンテスト表彰式を開催し、最優秀賞(東ト運輸支局長賞)の村上

今年度コンテストには、都内の小学校などから456作品の応募があり、児童絵画作品コンテスト選考小委員会で審査・選考の上、最優秀賞(1点)をはじめ、優秀賞(計9点)、および佳作(10点)を決定した。

表彰式には、児童とその保護者などが出席。冒頭、浅井

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

東ト協は12月18日、東ト総合会館で、令和4年度「トラックの日」児童絵画コンテスト表彰式を開催し、最優秀賞(東ト運輸支局長賞)の村上

今年度コンテストには、都内の小学校などから456作品の応募があり、児童絵画作品コンテスト選考小委員会で審査・選考の上、最優秀賞(1点)をはじめ、優秀賞(計9点)、および佳作(10点)を決定した。

表彰式には、児童とその保護者などが出席。冒頭、浅井

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した。

最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者は11月10日号既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載

既報/入賞作品は新年1月10日号掲載



最優秀賞の村上さん(中央)と尾崎支局長(右)、浅井会長(左)

入賞者を表彰したのに続き、優秀表彰では浅井会長が東ト協会長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞の表彰を行い、最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を授与した

運輸 点描

原材料・エネルギーから食料品まで、様々なものの値上がりが続く中、今年は「物価高倒産」件数が最多になることが必至の情勢だ。業種別ではとりわけ運輸業が多い。トラック運送業においても、燃料価格の高騰などで厳しい経営環境にあるが、時間外労働(残業)が制約される、いわゆる「2024年問題」も控えており、人件費の増大が避けられそうもない状況にある。こうした中で、持続的な事業経営を可能にするためには、取引先と転嫁交渉を進めるなど、運賃収受改善に向けて正念場の対応を迫られつつある。

急増する「物価高倒産」

帝国データバンクの「物価高倒産」動向調査結果によると、物価高倒産件数は今年11月まで5か月連続で月間最多を更新し、11月までの累計では272件に上る。このうち、運輸業が54件と全体の約20%を占め、突出して多い状況にある。今後、さらに倒産件数が増加する見通しで、年間では300件を超えるのがほぼ確実という。昨年は年間138件だから、2倍以上にも増加することになる。

同調査結果では、トラック運送業の倒産事例も紹介している。新型コロナウイルス感染症の影響により、主力取引先の受注が減少する中で、燃料費の増大などで先行きの見通しも立たないことから、破産手続きの開始決定に至ったという。トラック運送事業者が直面する経営環境の厳しさを端的に示す、倒産事例の1つである。仮に多少なりとも仕事が増えても、これだけ値上げが相次ぐ中でコスト増分の転嫁が進まないことには、経営の行き着く先は必ずと明らかだろう。

ただ、業界では現状、まだ転嫁が進んでいないようには見受けられない。その証左の1つが運賃水準の動向だろう。

残業規制で人件費も増大 事業継続へ転嫁が不可避

輸送需要を示す荷物情報(求車)の登録件数は大幅な増加が続く、かなり回復してきているが、仮にコスト上昇分の転嫁が進展しているのであれば、もつと運賃指数が上向いてもよさそうだが、そうはなっていない。

個別の事業者にとつて、コスト増分の運賃転嫁が難しいことをうかがわせる。確かに、政府が「転嫁円滑化施策パッケージ」をはじめ、転嫁促進に向けた施策を推進する中で、転嫁の申し入れや協議に応じる企業が増えているが、結果として、必ずしも価格転嫁が実現しているわけではない。

とはいえ、転嫁の申し入れをしなければ、現状のままとなってしまう、部分的な転嫁も実現しないだろう。転嫁の申し入れに二の足を踏むのは、取引関係への影響が懸念されることだろうが、事業者には来年以降、さらなるコスト増が控えているだけに、もはや申し入りに踏み切るべき段階ではないか。

現状の物価高騰に加え、いわゆる「2024年問題」への対応を具体的に迫られるからだ。来年4月から中小企業に対し、月60時間を超える残業時間に対する法定賃金割増率50%以上が適用される。その1年後の令和6年4月から、残業時間の上限規制(年960時間以内)が適用される。

これまでも盛んに早期の対応が呼びかけられてきたことだが、現実問題として、一人当たりの残業時間を短縮するなど、対応を迫られ、これに伴って人件費の増大は避けられそうもない。少くとも、現状の長時間労働を前提とした仕事のやり方では対応が難しくなる。

こうした相次ぐコスト増を業務効率化などで吸収するにしても自ずと限界があるわけで、やはり運賃への転嫁が不可避だろう。

一方、取引先の荷主企業などにおいても、トラック運送事業者などが直面する状況にもつと目を向け、これまでのような運賃で輸送サービスの提供を受けられなくなるおそれがあることを、認識して然るべきではないか。

(ライター 山上達三)

厚労省 業務改善助成金を拡充 上限額の引き上げなど

厚生労働省は、「業務改善助成金(通常コース)」について、助成上限額の引き上げや対象経費の拡大を図るなど拡充した。これに伴い、令和5年3月31日まで助成申請の受付を行っている。



申請受付 5年3月31日まで

同助成金は事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)の引き上げを図る中小企業などが、生産性向上

を引上げた。助成上限額は賃金引き上げ労働者数、賃上げ額に応じて設定しており、例えば、賃上げ労働者数1人・賃上げ額30円の場合、上限額を従来の30万円から60万円に引き上げた。

また、要件に該当する特別事業者の一部に対しては、助成対象経費を拡大。生産性向上に資する設備投資として、定員7人以上または車両本体価格200万円以下の乗用自動車や貨物自動車などに加え、パソコン・スマートフォン・タブレットなどの端末と周辺機器の新規導入も対象とする。これらに加え、関連する経費として、広告宣伝費や汎用事務機器、事務室の拡大なども新たに対象とする。

対象要件は、①売上高や生産量など事業活動を示す指標の直近3か月間の月平均値が前年、前々年または3年前の同じ月に比べて15%以上減少の事業者、②原材料費の高騰など社会的・経済的環境の変化などの外的要因により、申請前3か月の利益率が前年同月比3%以上低下の事業者。

このほか、助成対象について、事業規模100人以下とする要件を廃止し、対象事業者の範囲

をを広げるとともに、申請期限も来年3月31日まで延長した。

詳細は、厚労省ホームページ(業務改善助成金)を参照。

▽問い合わせ先「業務改善助成金コールセンター」(0120・366・1012) / 受付：平日午前8時30分～午後5時15分

都中小企業 省エネ対策推進へ助成 来年1月に第3回募集

東京都と都中小企業振興公社は令和5年1月4日から、「原油価格高騰等に伴う経営基盤安定化緊急対策事業」の第3回募集を行う。

原油高騰に加え、急激な為替変動などで中小企業の経営状況の悪化が長期化していることから、

算期の売上高が前期または前々期と比較して10%以上の減少見込み、②直近決算期に損失を計上、もしくは次期決算期に損失見込みのいずれの要件を満たす事業者。

支援内容は、申し込みにより専門家派遣(無料)を受けた事業者を対象に、省エネ化や固定費削減に資する設備などの導入経費を一部助成する。高効率の冷凍庫やエコドライブシステム、トラック用導風板、低燃費タイヤなども対象。

助成金の限度額は100万円(下限額100万円)で、助成率は対象経費の5分の4以内。

感染症対策でサポート助成

東京都は、新型コロナウイルス感染症対策の各種支援策について、申請受付期間などを延長し、それぞれ延長する。

「備品購入、内装・設備工事コース」は助成率が2以内で、上限額は10万円。

詳細は、都中小企業振興公社のホームページを参照。

申請期限を延長 5年3月31日まで

厚労省 長時間労働改善へ 無料で各種相談対応

厚生労働省は、「トラック運送者の長時間労働改善特別相談センター」を設置し、労務管理上の改善や、荷主と運送事業者の協力による作業環境の改善などに関する各種相談に対応している(本号に案内チラシ同封)。

令和4年度「自動車運送業」の労働時間改善に向けた荷主等への対策事例の一環として実施しているもので、無料で相談に応じている。

相談方法は「トラック運送者の長時間労働改善特別相談センター」の相談専用ページまたは電話(フリーダイヤル)。

なお、ポータルサイトでは長時間労働の改善に向けた各種情報を発信しており、問題点・解決策を確認できる荷主企業や運送事業者向けの「自己診断ツール」も用意されている。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当:青木)

高島平 03-6906-5960 (担当:磯田)

ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

協 会 第108回 交付金事業審議委員会



5年度事業の方向性承認 経費削減し効果的に推進

東京都トラック協会は12月14日、東ト総合会館で、第108回東京交付金事業審議委員会(W eb併用)を開催し、委員長に只腰憲久氏(元東京都都市整備局長)を選任した後、令和5年度交付金事業の方向性について審議・承認した。

冒頭、浅井隆会長がいさつし、運輸事業振興助成交付金はかつて20億円以上あったが、長期的に減少傾向を辿り、令和2年度以降は9億円を下

回るまで減っていると指摘。その上で、厳しい経営環境の中でも、業界は生活と経済のインフラとして物流機能の確保に努め、公共的役割を担っていることを強調し、「交付金を通じて関係行政機関の支援を賜りたい」とした。さらに、「会員のための協会」「会員重視の協会」の確立に向けて、「会員・支部・本部が三位一体」で課題解決に取り組む方針とし、このため「交付金の効率的・効果的な執行に努めたい」とした。

この後、議事に入り、4年度の交付金事業の執行状況を報告した上で、5年度実施計画の策定に当たっての基本的考え方や方向性について説明し、審議・承認した。

来年度計画の基本的な考え方としては、各事業の執行状況を検証し、コロナ禍・ウイズコロナ禍でも事業が実施できるような必要予算を計上する。あわせて、Web媒体の活用や情報システム化を一層推進し、業務効率化や経費削減を図る。また、厳しい財政状況を踏まえ、最少のコストで最大のサービス提供を目的とし、引き続きコスト削減を図るとともに、各事業のスクラップアンドビルドや総点検を行い、必要な費用を精査した計画案などとする方針。

来年度の交付金予算では、都からの交付額は今年度予算比5%減額を見込み、全日本トラック協会助成などと合わせ、収入合計は同4・7%減の8億7900万円を見込む。このため、人件費や事務的経費は執行状況を踏まえ削減する方針。審議委員会では、只腰委員長や出席委員から、主にWebの活用による戦略的広報などに関する質問が出された。

これに対し、鎮目隆雄副会長(広報・情報委員)は、このように進めると説明した。

長が戦略的広報として、厚生労働省助成金を利用して、トラック事業の重要性をアピールする新聞広告を掲載するほか、各種メディアを活用し効果的に広報を行う方針を説明。また、宮城俊弥常務理事が情報化対応について、業務の効率化にも効果があるため、さらに推進すると説明した。

同 会 自動点呼・免許区分と改正道交法をテーマに 説明会

東ト協台東東・墨田・荒川各支部は12月12日、墨田区の東武ホテルレバンタ東京で、深川・城東・葛飾各支部との共催により「AIロボット点呼・免許区分と改正道交法等説明会」を開催した。

説明会では、日本貨物運送協同組合連合会の永嶋功常務理事と、ナブアシストの星野俊行氏が「自動点呼機器AIロボット」の普及についてと題して講演。

永嶋氏は、運行管理高度化検討会など行政の動向として、乗務後条件付き自動点呼の制度化などについて説明。自動点呼機器の活用は長距離や深夜運行の事業者が中心となるが、働き方改革の推進に向け、運行管理者の業務軽減のため活用を進める必要があるとした。

また、星野氏は乗務前、乗務後の自動点呼のデモンストラーションを行い、導入効果やコストなどについて紹介した。

続いて、京成ドライブングスクール営業企画部の小野寺正記氏が「現行の運転免許区分と改正道交法の特例講習(19歳以上の大・中型免許取得等について)」と題して講演。特例講習により、19歳以上で普通免許取得1年で大型・中型免許を取得できるが、若年運転者講習が義務付けられており、事故を起こしやすい若年者への指導が重要になると指摘した。

講演の後、台東支部の松本有司支部長がいさつし、「東ト協では支部を越えてブロック単位での

情報交換を進め、講習会開催などでITの活用を進めている。活動を合理化し、魅力ある協会にするため、取り組みをさらに進めていきたい」と述べた。

乗務後の自動点呼のデモンストラーションを行い、導入効果やコストなどについて紹介した。

乗務後の自動点呼のデモンストラーションを行い、導入効果やコストなどについて紹介した。

東ト協6支部
台東 墨田 荒川
深川 城東 葛飾



東ト協は令和5年2月18・19日(土・日)の2日間、4年度第3回「本部集団健診」を実施する。会場は、東ト総合会館(〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1)で、申し込みは原則として表の通り、2日間合計10部制で先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。

申し込みは、原則として表の通り、2日間合計10部制で先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。

申し込みは、原則として表の通り、2日間合計10部制で先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。

申し込みは、原則として表の通り、2日間合計10部制で先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。

令和5年2月18日(土)	2月19日(日)
① 8時30分～9時30分	⑦ 8時30分～9時30分
② 9時30分～10時30分	⑧ 9時30分～10時30分
③ 10時30分～11時30分	⑨ 10時30分～11時30分
④ 11時30分～12時30分	⑩ 11時30分～12時30分
⑤ 14時30分～15時30分	※申し込みは原則、時間帯別とし、①～⑩のいずれかの枠で。定員は各時間帯とも40人、⑥のみ20人
⑥ 15時30分～16時00分	

受講申し込み受付2月3日まで

先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。



申し込みは、原則として表の通り、2日間合計10部制で先着順に受け付ける。各時間帯につき1事業者10人まで。申し込み期間は来年1月18日まで。東ト協ホームページ「予約フォーム」で申し込み。なお、今回から、オプショングループとして大腸がん検診も受診できる。

東ト協 国交大臣表彰 受賞祝賀会

東京都トラック協会は、12月15日、港区の第一ホテル東京で、令和4年「国交大臣表彰受賞祝賀会」を開催し、各氏の栄誉を祝した。

今年の表彰では、吉田浩一(宮吉運輸・中央)・松原伸行(松原運送・大田)・浅見博之(浅見運輸)・倉庫・世田谷)・飯田勇一(TAKAIDOKU)・ルフロア・杉並)・篠本密治(徳丸運輸倉庫・板橋)・中村克敏(中彦運送・城東)・香川省司(東都運搬社・墨田)・荒井孝志(東京荒井清運送・葛飾)・高橋忠男(五島運輸倉庫・足立)・小沢庄一(三興運輸・多摩)の各氏が受賞。



これに対し、松原氏が謝辞に立ち、「業界には燃料高騰、2024年問題などの課題が山積しているが、受賞を機に、受賞者が業界・協会のために微力ながら頑張っていきたい」と述べた。

また、来賓を代表して関東運輸局の新田慎二局長があいさつし、「受賞の皆様は長年にわたり、事故防止活動に率先して取り組み、着実にその実績を挙げてこられた。今後とも、輸送の安全・安心の確保に向けてご理解・ご協力をお願いしたい」と祝辞を述べた。

引き続き、森本勝也副会長の発声で乾杯し、会場では歓談が続いた。

最後に、大高一義副会長が閉会のあいさつを述べた。

10氏の栄誉を祝す

「東ト協中央支部(澤幡淳支部)長は12月6日、中央区の三越フルチャーサロンで、令和4年度「事故防止事業者大会」を開催し、止業者大会」を開催し、事故防止活動の推進と安全運行の徹底に向けた大会宣言を採択した。

事故防止事業者大会

東ト協中央支部(澤幡淳支部)長は12月6日、中央区の三越フルチャーサロンで、令和4年度「事故防止事業者大会」を開催し、止業者大会」を開催し、事故防止活動の推進と安全運行の徹底に向けた大会宣言を採択した。



安全最優先の企業風土へ 7項目の対策実践を宣言

事業者大会を開催し、交通安全の秘訣などを学ぶことにより、1件でも事故を減らせるよう取り組んでいきたいと述べ、事故防止の徹底を求めた。

同日は、関係者は、関

具体的には、過労運転の防止や運転者の健康に起因した事故防止、歩行者および自転車利用者の安全に配慮、飲酒運転および危険ドラッグ服用運転の根絶——など、7項目の取り組みを実践し、「企業の安全最優先の風土」の構築・定着を図ることにより、業界の地位向上を目指す旨を宣言した。

なお、大会では、第43回東ト協ドライバークンテストで2部門優勝の佐藤高志さん(ハナワトランスポート)と、女性部門優勝の田中美佳さん(同)に対し、澤幡支部長が金一封を手渡し、健闘をたたえた。

違反別 営業用トラック関与の交通事故

違反別	令和4年11月末年間累計													
	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計			
大型	1当件数	103	46	30	6	1	14	2	0	0	67	269		
	関与事故件数	100	37	35	6	1	12	2	0	0	108	301		
	(前年比)	+7	-2	+13	-5	+1	+3	-2	±0	±0	-6	+9		
中型	1当件数	58	64	16	7	1	20	10	0	1	48	225		
	関与事故件数	57	58	26	7	1	18	9	0	1	93	270		
	(前年比)	-8	+3	-5	-1	+1	+11	+7	+0	+1	+2	+11		
発生	1当件数	114	84	48	17	4	30	7	2	0	71	377		
	関与事故件数	115	74	57	17	3	29	5	2	0	174	476		
	(前年比)	-5	+15	+17	+7	±0	+16	-5	+2	±0	-12	+35		
普通	1当件数	370	171	177	34	25	42	13	0	2	211	1,045		
	関与事故件数	390	161	214	35	24	40	13	2	3	500	1,382		
	(前年比)	-5	+23	+5	+6	+12	-8	-8	-3	+2	+50	+74		
合計	1当件数	645	365	271	64	31	106	32	2	3	397	1,916		
	関与事故件数	662	330	332	65	29	99	29	4	4	875	2,429		
	(前年比)	-11	+39	+30	+7	+14	+22	-8	-1	+3	+34	+129		
死者数	大型貨物車(1当)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3		
	中型貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	準中型貨物車(1当)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
	普通・軽貨物車(1当)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3		

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

たくさんの笑顔が走る 首都東京

令和4年11月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は2万7,362件で、前年同期比2,682件増加し、死者数は116人で前年同期比4人増加となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は2,429件で、前年同期比

129件増加し、死者数は12人で前年同期比3人増加となった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が306件で、前年同期比8件増加し、死者数は1人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故件数が662件で、前年同期比11件減少となっている。

トラック事故速報

◎運転中は常に緊張感を保ち、前方や周囲の状況に注意を払って安全第一で運行すること。漫然運転は絶対にしない。

日時	12月12日(月) 12時47分頃発生(晴天)
場所	北区内(環七通り)
当事者	①自転車(女性70代死亡) × ②事業用準中型貨物車(男性60代)
状況	北区神谷 至 新神谷橋
概要	事業用準中型貨物自動車(環七通りを東十条五丁目方面から新神谷橋方面に第二通行帯を走行中、前方の赤色灯火の信号機を見落としたことにより横断歩道を青信号に従って左方から右方へ進行していた自転車と衝突した。

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

トラックドライバーのための危険予知トレーニング

収録交通場面

- ①有信号交差点での右折
- ②有信号交差点での左折
- ③住宅地の道路
- ④夜間の道路
- ⑤駐車車両がある道路
- ⑥施設へのバック入庫

関東交通共済協同組合

関交協 オリジナル 冊子

トラックドライバーのための危険予知トレーニング

関交協では、運送事業者の皆様とともに交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。

当組合発生の事故事例の類似交通場面を画像で例示し、分析＆解説した冊子を作成いたしました。

国土交通省 事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げられた、取り組むべき課題「危険予知トレーニング用視聴覚教材による事故防止活動の推進」に則した指導・教育に本冊子をご活用ください。

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL: 03-5337-1754
MAIL: ansui@kankokyo.or.jp

関東交通共済協同組合

世界遺産への日本発信力



姫路城

木の文化や修復伝承の伝統力

日本の盆踊りや念仏踊りなどが世界遺産に登録された。ユネスコ(国連教育科学文化機関)が11月30日、日本が提案した民俗芸能「風流踊」を無形文化遺産に登録することを決めた。

登録が決まったのは東京の3件をはじめ、秋田の西馬音内盆踊、岐阜の郡上踊、京都の六斎念仏など24都府県の計41件。

風流踊は、各地の祭礼や年中行事で行われる民俗芸能。「風流」は華やかで賑やかな、人目を惹いたり目をみはったりするものを、趣向をこらした衣装や持ち物、大太鼓、鉦などで囃して踊る。死者供養、豊作祈願、除災、雨乞いなどの願いが込められ、多種多様に伝承されてきた。

世界遺産は近年、観光地のセールのポイント的な面が強くなってきているが、文化遺産や自然遺産を人類全体のために損傷や破壊などから保護し、保存することが重要であるとして、国際的な協力・援助体制の確立を目的としたもの。

世界遺産への関心は、エジプトの古代遺跡がダム建設の影響で水没することとなり、その救済

済を世界でどうするかというところから発うことになった。

日本が世界遺産が注目されるようになったのは、1980年代頃からの、自然保護への関心の高まりを受けたもので、1993年に法隆寺や姫路城が日本の世界遺産第1号として登録された。

法隆寺は現存する最古の木造建造物、姫路城は設計技術と装飾美において木造城郭建築の最高峰であり、人類の創造的才能を表す傑作。天守群を中心に櫓・門・土塀・石垣・堀など、防御にも創意をこらした日本独特の城郭構成を表す代表的な建造物であることが評価された。日本からの登録は木の文化への評価を迫るものとなり、文化の多様性を認める契機となったことは注目している。

文化遺産は「オリジナルの状態」の維持・保存に関する項目があり、原型・原状をどこまで保っているかが建造物での重要な点となる。石造やレンガなどの耐久性のある建材を使っている、ヨーロッパの建造物を基準として保存状態を考えると、木造建造物では木材の劣化が避けられない。修復は必然的なものであり、そのことをどう評価するかが問題となった。外觀を似せただけの修復では「オリジナル」とは言えないからだ。姫路城の大修理では利用で

きる部材は再利用、材料・技法・工法を含めて「原状」にこだわ「原状」に戻すことを目指す基本方針で行われ、木造文化財の修復のあり方を具体的に示した。このことが、世界遺産委員会の基準見直しを迫ることになり、日本の修復は本来の姿(オリジナル)を維持していることが認められた。

日光東照宮の大きな特色の一つは、鮮やかで豪華な色彩の彫刻群だ。それらの大敵は日光の過酷な条件の自然環境であり、修復には江戸時代以来専門の技術者集団が担っている。技術者集団は、伝統的な材料、伝統的な技法による修理や修理後の報告書を作成し、後世に伝承し、また技術者の養成も行っている。伝承は、創建当時の姿を維持するためのデータを保存しているもので、これが日光東照宮の華麗さ、豪華さを維持・保存する土台となっている。ここにも木造建造物を維持・保存し、継承する仕組みがある。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。



日光東照宮の陽明門

「小河内の鹿島踊」は、都内の水がめである、小河内ダムの建設に伴って沈んだ旧小河内村にもともと伝えられていた。水没で移転した人々が保存会をつくり伝承している。踊はすべて女装姿の青年によって踊られる。近世初頭の風流踊の系統を伝えているという。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

東京から3件登録

世界遺産登録の都内の3件は、奥多摩町「小河内の鹿島踊」(1980年)、新島村「新島の大踊」(2005年)、日の出町「下平井の鳳凰の舞」(2006年)で、いずれも国指定無形民俗文化財(カッコ内は指定年)となっている。

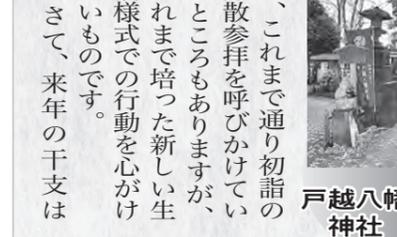
「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

風流踊が世界遺産に



小河内の鹿島踊

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

笑顔ふりまく 夢叶うまで

行動制限のない年末年始は実に3年ぶりのこと。久しぶりの旅行や控えていた帰省をはじめ、これから多くの人やモノが行き交うこととなりそうです。

全国の神社やお寺で



戸越八幡神社

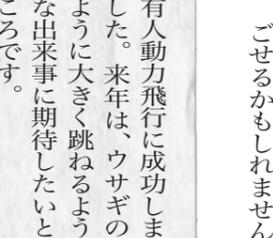
「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

あちこち 見てある記

これまで通り初詣の分散参拝を呼びかけているところもありますが、これまで培った新しい生活様式での行動を心がけて、来年の干支は



お雛様

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

【戸越八幡神社】

住所：品川区戸越2-6-23

田中一村

田中一村は、1908年に栃木県で生まれ、東京美術学校(現・東京芸術大学)日本画科に入学。同期には東山魁夷がいましたが、家庭の事情で中退します。その

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

「下平井の鳳凰の舞」は、9月末に行われる春日神社の秋季例祭で演じられ、歌舞伎の影響がみられる「奴の舞」と大太鼓を打ちつつ、勇壮活発に踊る「鳳凰の舞」で構成される。

「新島の大踊」は、本村と若郷に伝承されている小歌踊りで、それぞれお盆に踊られる。踊り手はカバと呼ばれる布を周囲に垂らした笠をかぶる。中世に流行した風流踊の遺風が認められるという。

あとも数日

あとも数日、毎年12月に集まる親睦会で「気になる今年の出来事」は?という話になることがある。残念だが会合はコロナ禍のために3年連続して休止している。もし開かれたら、何の話になったのだろうか。やはり3年越しの新型コロナが一番だろう。話すことは山ほどある。次は、もしかしたらロシアのウクライナ軍事侵攻だろうか。驚きの動画によって、今更ながら人類はつい最近まで隣の集落を躊躇なく襲っていたのだということ、そして国と国との間には法秩序が無いことを知らされた◆令和5年の正月が来る。正月といえ、デパートをはじめとする有名店舗が元日営業中止というニュースを覚えてはいるが、どうなったのだろうか。すでに半世紀になる経緯を逆行させるようなことだが、静かで懐かしい昭和の三が日を目にするのができるのだろうか◆ほとんどの店舗が閉まって飲食に困る単身者のためという小さな流れが、いつしか関連産業すべてを巻き込み大きな激流になっていった昭和、平成。その数十年の過程を見てきた者には、ちよつとうれい話だ。

田中一村

田中一村は、1908年に栃木県で生まれ、東京美術学校(現・東京芸術大学)日本画科に入学。同期には東山魁夷がいましたが、家庭の事情で中退します。その

あとも数日

あとも数日、毎年12月に集まる親睦会で「気になる今年の出来事」は?という話になることがある。残念だが会合はコロナ禍のために3年連続して休止している。もし開かれたら、何の話になったのだろうか。やはり3年越しの新型コロナが一番だろう。話すことは山ほどある。次は、もしかしたらロシアのウクライナ軍事侵攻だろうか。驚きの動画によって、今更ながら人類はつい最近まで隣の集落を躊躇なく襲っていたのだということ、そして国と国との間には法秩序が無いことを知らされた◆令和5年の正月が来る。正月といえ、デパートをはじめとする有名店舗が元日営業中止というニュースを覚えてはいるが、どうなったのだろうか。すでに半世紀になる経緯を逆行させるようなことだが、静かで懐かしい昭和の三が日を目にするのができるのだろうか◆ほとんどの店舗が閉まって飲食に困る単身者のためという小さな流れが、いつしか関連産業すべてを巻き込み大きな激流になっていった昭和、平成。その数十年の過程を見てきた者には、ちよつとうれい話だ。

あとも数日

あとも数日、毎年12月に集まる親睦会で「気になる今年の出来事」は?という話になることがある。残念だが会合はコロナ禍のために3年連続して休止している。もし開かれたら、何の話になったのだろうか。やはり3年越しの新型コロナが一番だろう。話すことは山ほどある。次は、もしかしたらロシアのウクライナ軍事侵攻だろうか。驚きの動画によって、今更ながら人類はつい最近まで隣の集落を躊躇なく襲っていたのだということ、そして国と国との間には法秩序が無いことを知らされた◆令和5年の正月が来る。正月といえ、デパートをはじめとする有名店舗が元日営業中止というニュースを覚えてはいるが、どうなったのだろうか。すでに半世紀になる経緯を逆行させるようなことだが、静かで懐かしい昭和の三が日を目にするのができるのだろうか◆ほとんどの店舗が閉まって飲食に困る単身者のためという小さな流れが、いつしか関連産業すべてを巻き込み大きな激流になっていった昭和、平成。その数十年の過程を見てきた者には、ちよつとうれい話だ。

あとも数日

あとも数日、毎年12月に集まる親睦会で「気になる今年の出来事」は?という話になることがある。残念だが会合はコロナ禍のために3年連続して休止している。もし開かれたら、何の話になったのだろうか。やはり3年越しの新型コロナが一番だろう。話すことは山ほどある。次は、もしかしたらロシアのウクライナ軍事侵攻だろうか。驚きの動画によって、今更ながら人類はつい最近まで隣の集落を躊躇なく襲っていたのだということ、そして国と国との間には法秩序が無いことを知らされた◆令和5年の正月が来る。正月といえ、デパートをはじめとする有名店舗が元日営業中止というニュースを覚えてはいるが、どうなったのだろうか。すでに半世紀になる経緯を逆行させるようなことだが、静かで懐かしい昭和の三が日を目にするのができるのだろうか◆ほとんどの店舗が閉まって飲食に困る単身者のためという小さな流れが、いつしか関連産業すべてを巻き込み大きな激流になっていった昭和、平成。その数十年の過程を見てきた者には、ちよつとうれい話だ。